

社福だより

かねがさき

Contents

主 な 内 容

- P 2 令和7年度事業計画・収支予算内訳
- P 4 社協会費納入のお願い・主な社会福祉活動事業
- P 5 金ヶ崎町社会福祉協議会組織図
- P 6 ぴかぴかの1年生・金ヶ崎第2学童保育所開所
ワークステーションかねがさき入所式
- P 7 さくらの会記念誌発行・オレンジカフェ実施団体募集
ふれあい外出支援運転ボランティア募集
- P 8 令和7年度ふれあい福祉相談日程・無料法律相談案内
寄附の報告・新年度の挨拶

vol. 272

2025年5月15日発行



永岡学童新1年生のみなさん

さくらの木の下で「はい、ポーズ!!」

▶各学童の新1年生は6ページ目に掲載しています。

令和7年度金ケ崎町社会福祉協議会 事業計画

基本方針

社会福祉協議会は、多様な福祉ニーズに応えるべく各種地域福祉事業をはじめ、学童保育所事業、介護事業、障がい福祉事業など幅広く展開しています。

本会が定めている第3期金ケ崎町地域福祉活動計画（令和3年度～令和7年度）の最終年度として、着実に事業を推進します。

重点事業

01

新福祉センター建設着手へ

建設から53年目を迎え、老朽化している金ケ崎町福祉センターについては、令和6年度で設計が完了したため、本年度は国庫補助金等の決定見通し等を踏まえた上で、

秋頃までの着工に向けて準備を進めます。

なお、建設予定地は現在の福祉センターの南側としているため、建設中も現在の建物で業務を継続し、完成後に現在の建物を解体することとしていますが、工事中は、駐車場についてご不便をおかけすることになります。



金ケ崎町福祉センター

02

地域福祉事業の推進

「ゆいっこハウス」や「青い鳥のつどい」などのほか、配食サービスや雪かきボランティア活動、買い物支援バスなど約57事業を実施します。

みんなの居場所「はっぴいぶれいすかねがさき」（子ども食堂）につ

いては、新たに立ち上げた団体等との連携を図りながら、さらに実施団体の拡大についても支援していきます。

また、本年度は来年度からスタートする第4期地域福祉活動計画の策定年度にあたるため、これまでの取り組み状況を総括し、幅広く意見を聴きながら新たな計画を策定します。

なお、福祉バス貸出し事業については、運転手の確保が困難になっており、外部委託となるため、申込状況によっては、利用できる団体数に制約が発生する場合があります。



はっぴいぶれいすかねがさき

03

学童保育事業の推進

子どもの数がやや減少傾向にある中で、学童保育所の利用者は、全体として昨年度より増加しています。

特に金ケ崎学童保育所では定員を超過しているため入所できない児童が見込まれていましたが、中央生涯教育センターの借用が可能となったことにより、同センターの中に金ケ崎第2学童保育所を設置し、本年度は入所要件を満たす場合は、6年生まで全員入所できることとなります。



学童保育所

04

介護事業の推進

介護事業は、新型コロナウイルス発生以降全般的に業績は伸び悩んでいましたが、これまでの業務改善が実り、経営状況が好転してきています。これまで以上に経営努力を重ねながら、本会が担っている居宅介護支援事業、訪問介護事業及び通所介護事業について、経営の安定化を図ります。

特に通所介護事業については、理学療法士による機能訓練の充実やビューティタッチセラピーなどを取り入れ、特徴を打ち出しながら事業を進めます。



デイサービス（通所介護事業所）

05

障がい福祉事業の推進

障がい者基幹相談支援センターと相談支援事業所あゆみは、引き続き専任職員を配置し、障がい者の相談に対応します。

放課後等デイサービス事業については、本年度もフレヨンと第2フレヨンで業務を行いますが、日中一時支援事業も継続し、きめ細かい対応を図っていきます。



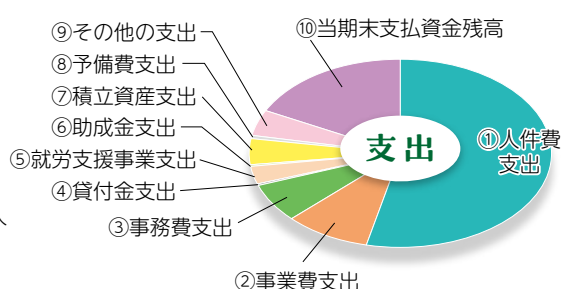
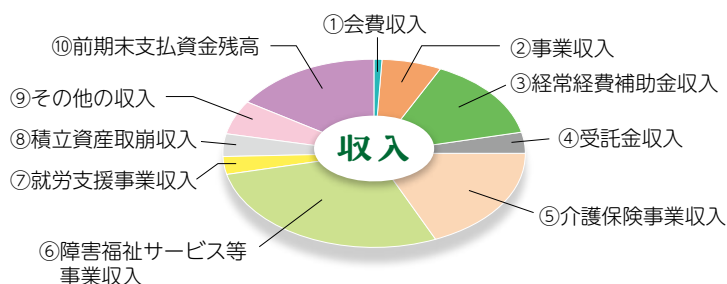
ワークステーション作業

また、ワークステーションかねがさきについては、生活介護事業と就労継続支援B型事業を実施していますが、新規利用者が増えているため、多様な作業を受注し、利用者工賃の向上に努めるとともに、「ふれ愛食堂」についても、どなたでも利用しやすい魅力のある食堂を目指して運営します。

令和7年度一般会計資金収支予算内訳表

収入項目	予算額 (千円)	割合 (%)
① 会費収入	4,370	0.9
② 事業収入	32,800	6.5
③ 経常経費補助金収入	71,654	14.2
④ 受託金収入	18,418	3.6
⑤ 介護保険事業収入	92,700	18.4
⑥ 障害福祉サービス等事業収入	140,076	27.8
⑦ 就労支援事業収入	16,350	3.2
⑧ 積立資産取崩収入	20,000	4.0
⑨ その他の収入	28,507	5.6
⑩ 前期末支払資金残高	79,845	15.8
合 計	504,720	100.0

支出項目	予算額 (千円)	割合 (%)
① 人件費支出	271,462	53.8
② 事業費支出	46,407	9.2
③ 事務費支出	33,622	6.7
④ 貸付金支出	300	0.1
⑤ 就労支援事業支出	16,350	3.2
⑥ 助成金支出	1,120	0.2
⑦ 積立資産支出	22,607	4.5
⑧ 予備費支出	3,400	0.7
⑨ その他の支出	21,800	4.3
⑩ 当期末支払資金残高	87,652	17.4
合 計	504,720	100.0





社会福祉協議会会費納入にご協力ください。

町民の皆さまから納入いただく会費は、事業の大きな原動力となり、令和7年度事業計画を実施するための重要財源となります。地域福祉向上のため、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

● 金ヶ崎町社協の一般会費

□ 一般会費 1世帯1,000円 (町内全世帯)

* 社会福祉活動推進員 (自治会長) を通じて納入いただいております。

□ 特別会費 一口 2,000円 (事業所・施設・関係機関団体)

□ 賛助会費 1,000円 (本会役員その他個人)

令和6年度社協会費実績

一般会費 3,855,000 円

特別会費 473,000 円

賛助会費 12,000 円

合 計 4,340,000 円



ご協力いただきました会費を活用し
主に以下のような事業を行います

主な社会福祉活動事業



オレンジカフェ事業



ご近所支え合いマップ事業



はっぴいぶれいすかねがさき



ふれあい相談・無料弁護士相談



ボランティアスクール事業



ゆいっこハウス事業



配食サービス



買い物支援バス事業



福祉バス貸出事業



スノーバスターズ

令和7年度の事業運営方針及び事業計画の詳細については、金ヶ崎町社会福祉協議会のホームページに掲載しております。





NEW!

ぴかぴかの1年生



三ヶ尻学童



西学童

今年も各学童に新1年生が入所しました。それぞれの学童で元気に活動しています。学童職員も、みなさんからパワーをもらいながら、安全に楽しく放課後の時間を過ごせるように見守っていきます。



北部学童



金ヶ崎学童

金ヶ崎第2学童保育所 開所



金ヶ崎第2学童保育所利用開始紹介式

金ヶ崎学童保育所については、入所希望者の増加に伴い、昨年度から定員超過が発生し、本年度は5年生、6年生が全員入所できない状況になっていましたが、これを解消するため、町と協議を重ねた結果、町の配慮により、中央生涯教育センターの2部屋を使用できることとなったため、4月1日から金ヶ崎第2学童保育所を開所することとなりました。これにより、4月から5・6年生16人が利用を開始します。

ワークステーション かねがさきで入所式

4月1日(火)、生活介護・就労継続支援事業所ワークステーションかねがさきで令和7年度の入所式を開催しました。今年度は、町内出身の前沢明峰支援学校卒業生3名が入所しました。大平望美さんが入所者を代表して「食堂での仕事を頑張りたい。早く仕事を覚えたい。」と社会人1年目の決意を新たにしていました。



金ヶ崎町避難者サロン「さくらの会」 発足 10 周年記念誌発刊



東日本大震災被災地から町内や近隣の市に避難された方々の交流サロン「さくらの会」が、発足してから令和 6 年で 10 年という節目の年を迎えました。

さくらの会はこれまで、町赤十字奉仕団や被災地社協との交流会への参加、お花見や紅葉見学、温泉施設でのリラクゼーション、ニュースポーツなどを通じて会員同士や地域の皆さまとの親睦を深めてきました。

様々な想いの詰まった 10 年間の記録を形に残すため記念誌を発刊し、3 月 25 日(火)に福祉センターで祝賀会を開催しました。会員の皆さまは記念誌を手にとりながら、思い出を語り合っていました。

記念誌は当協議会ホームページでご覧いただけます。▶ <http://www.kin-syakyo.jp>



募 集 し て い ま す !

募集 1 令和 7 年度

オレンジカフェ 実施団体募集



だれもが気軽に集える地域に開かれたカフェ等を開設し、勉強会や健康教室等を行います。高齢者の介護予防や認知症予防、地域の人たちとのつながりが増えることを目指します。

対 象 概ね 65 歳以上 **人 数** 5 人以上

内 容 認知症や介護についての研修、健康教室、情報共有、交流など 年 4 回以上実施

実施期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

助 成 金 2 万円

応募方法 申込書と事業計画書を社協に提出いただきます。※様式は当会ホームページからダウンロードできます。

受付期間 5 月 21 日(水) ～ 30 日(金) ※予算が上限に達し次第受付を終了します。



募集 2

ふれあい外出支援サービス(福祉有償運送)

運転ボランティアの資格

講習
修了

無料で取得しませんか？

金ヶ崎町社会福祉協議会では、障がいや病弱等の理由から一般の交通機関を利用することが困難な町民の方を対象に、公用車を使用して主に通院の際の送迎サービスを行っています。

普通免許をお持ちであれば 1 日講習を受講・修了することで移送ボランティアとして活動することができます。(二種免許をお持ちの方は受講の必要はありません。)

現在、運転ボランティアを大募集中です。運行時間は主に午前中で、必ず介助者が同行します。有償ボランティアとなっており、一回の活動につき 500 円(町内)、または 1,000 円(町外)を支給します。

お申し込み、お問い合わせは以下まで、お気軽にご連絡ください。



お問い合わせ・お申し込み

総務企画・地域福祉課 担当：小澤 (☎ 44-6060)

INFO 令和7年度 ふれあい福祉相談の開催について

金ケ崎町社会福祉協議会では、住民の皆さんの困りごとや日常生活での様々なお悩みについて相談をお受けする「ふれあい福祉相談」を実施しています。今年度は以下の日程で開催します。相談の際は、特に予約は必要ありません。なお、個人情報厳守いたします。

日時 原則毎月第4金曜日(12月は第3金曜日、3月は第2金曜日) 午後1時～4時

場所 金ケ崎町福祉センター 2階相談室

お問い合わせ 総務企画・地域福祉課 ☎ 44-6060

令和7年度ふれあい福祉相談日程一覧

令和7年	4月25日(金)	令和7年	10月24日(金)
	5月23日(金)		11月28日(金)
	6月27日(金)		12月19日(金)
	7月25日(金)	令和8年	1月23日(金)
	8月22日(金)		2月27日(金)
	9月26日(金)		3月13日(金)

INFO 弁護士による無料法律相談会を開催します

金ケ崎町社会福祉協議会では、「弁護士による無料法律相談会」を開催します。相続・借金・消費者問題・家族関係の問題など法律にかかわるお悩みがある方は、ぜひこの機会をご活用下さい。なお、令和7年12月に第2回目を予定しております。

日時 令和7年6月6日(金) 午前9時～正午
(相談時間はお一人約30分)

場所 金ケ崎町福祉センター2階相談室、第2会議室

対象者 金ケ崎町在住の方で、法律の相談を希望される方(完全予約制、定員6名になり次第締切とさせていただきます)

弁護士 岩手銀河法律事務所 森崎信介弁護士

申込方法 電話、FAX、直接来所(FAXの方は、住所・氏名・連絡先を記入して下さい)。

お問い合わせ

社会福祉法人金ケ崎町社会福祉協議会
無料法律相談係
☎ 44-6060、FAX 44-6106

寄附の報告

令和7年3月1日から4月30日まで

● 寄附

- カリツー東日本㈱ 50,000円(はっぴいぐれいす)
- 高橋みえ子 20,000円(福祉基金)
- 及川喜美子 30,000円(福祉基金)
- 金ケ崎町立金ケ崎中学校 31,500円(福祉基金)
- 澤口サヨ 30,000円(福祉基金)

● 物品寄附

- 高橋敏 車イス1台、シルバーカー1台(デイスサービス)

ありがとうございます！



◇アルミ缶回収運動
(令和6年5月～令和7年2月)
全校生徒へ事前に運動の目的(地域貢献活動)を伝え、アルミ缶回収を呼びかけました。月に1度1週間の回収期間を設け、校外専門委員会を中心に当番制で昇降口に立ち、洗って持参したアルミ缶を回収し換金しました。「アルミ缶回収をとおして、少しでも地域貢献ができれば」との思いで取り組みました。

新年度の挨拶

見守り態勢の再構築

金ケ崎町社会福祉協議会会長 高橋 範 夫



先月警察庁が、自宅で亡くなった一人暮らしの人数(警察で取り扱った人数)を公表しました。

この記事は、既にご覧になった方も多いと思いますが、今後の地域福祉に大きく関わることなので、敢えて取り上げてみました。公表された内容は、昨年1年間、自宅で亡くなった人は76,020人で、この内65歳以上の高齢者は58,044人と全体の8割を占めています。驚くべきことは、死亡後8日以上経過して発見された人は21,856人で男性が8割を占めているということです。

また、「社会保障・人口問題研究所」の日本の将来推定人口(2025年に推計)によりますと、65歳以上の高齢化率は、29.6%から2050年には37.1%に増加すると推定しています。

更に、内閣府の「令和3年版高齢社会白書」では、65歳以上の一人暮らし高齢者は、今後とも着実に増加していくほか、社会的孤立や孤独死に結びつきやすい高齢者の近所付き合いの程度は、65歳以上の男性は「あいさつ程度」が52%「親しく付き合っている」が16.7%、一方女性は、同29%、34%となっています。女性は男性より近所付き合いを大切に、孤立を無意識ながら積極的に防止している生活ぶりが分かります。

さて、当社協として、これまで一人暮らし対応として、「青い鳥の集い」や「オレンジカフェ」そして孤立死の防止として「地域見守りネットワーク」を活用し、孤立の防止と孤独死の早期発見に努めてきましたが、私はまだまだ不十分だと思っています。例えば、緊急時の見守りダイヤルの設置、冷蔵庫の開閉と連動したセンサーでの安否確認、訪問サービスの強化等をすすめて、今後一人暮らし高齢者に対応した見守り態勢を、更に整備しなければならない時機と、強く思う昨今です。

社会福祉法人 金ケ崎町社会福祉協議会

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL 0197-44-6060 FAX 0197-44-6106

http://www.kin-syakyo.jp E-mail: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

※この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。

